

【担当教員名】 藤澤 由和	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 社会学は一見とらえどころのない学問のように思われますが、その核心は、何気なく生活しているわれわれの日常の背後には、一体どのような原理や秩序そしてルールが存在しているのかを探求することにあります。したがって社会学的発想とは、ある種日常の意識とは別の次元に位置し、意識して日常生活や社会を検討することであり、そのためにはある種の知識や訓練が必要です。社会学的認識が一体なにに役立つかは、千差万別ですが、福祉や医療の問題点を様々な次元から捉えることを可能にするのみならず、現代社会に生きる上で欠かすことのできない多面的視座を獲得することが可能となるでしょう。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 受講者が、講義終了後に求められる基本的能力としては、「社会学的発想」を体感できるようになることです。さらに、今後福祉および医療分野で活躍するために必要とされる基本的な知識を獲得することが求められます。また上記に関連して、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験の一部である、社会学の問題のレベルを把握することを通して、今後の学習の基礎を身に付けることが求められます。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義
2	社会構造・社会変動(1)		講義 (全体ディスカッション)
3	社会構造・社会変動(2)		講義 (全体ディスカッション)
4	社会構造・社会変動(3)		講義 (全体ディスカッション)
5	社会問題・社会福祉関連(1)		講義 (全体ディスカッション)
6	社会問題・社会福祉関連(2)		講義 (全体ディスカッション)
7	社会問題・社会福祉関連(3)		講義 (全体ディスカッション)
8	家族・ジェンダー(1)		講義 (全体ディスカッション)
9	家族・ジェンダー(2)		講義 (全体ディスカッション)
10	地域・都市・農村(1)		講義 (全体ディスカッション)
11	地域・都市・農村(2)		講義 (全体ディスカッション)
12	社会学理論(1)		講義 (全体ディスカッション)
13	社会学史(1)		講義 (全体ディスカッション)
14	総括		全体でのディスカッション
15	教場試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考書	特に指定しない (適宜授業中に提示します)			
その他の資料	必要な場合配布する			

【評価方法】 授業への参加度 (20%) 教場試験 (80%)	【履修上の留意点】 出席を取ることはしませんが、ディスカッションを通しての授業への参加度を評価します。
---------------------------------------	--